工作“キャラクタの目が追いかけてくる”

青森・野呂茂樹

＊＊＊

凹面に描かれた顔の視線が追いかけてくるように見える錯視工作があります。「首振りドラゴン」が有名です。

ハガキ大の用紙での簡単なつくりを紹介します。

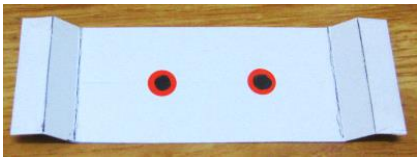
【つくりなど】

①用紙にキャラクタを描き、目全体の部分を切り抜きます（切り抜く作業が難しい子どもには、目全体の部分を切り抜いた用紙を与え、キャラクタを描かせるといいでしょう）。

②厚紙で凹部台紙(4×12cm)をつくります。

両端ののりしろ幅・凹部の深さは、1cmにしました。

③台紙に①の用紙を載せ、凹部に描く目の位置を決め、目を描きます(また、丸いシールを貼り付けます)。



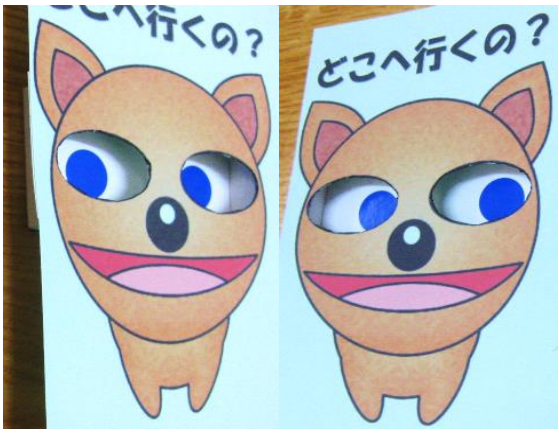
④キャラクタが描かれた用紙の裏側に③の折り曲げた凹部台紙を貼り付けると、完成です。

⑤完成した作品をまず、真正面ら見ます。

次に、左右に移動して見ると、キャラクタの目が追いかけてくるように見えます。

さらに、見る視線を上下に移動してみましょう。キャラクタの目が動いているように感じられます。

また、両端を指で持って、キャラクタが描かれている面を左右にスライドさせると、キャラクタの目は反対方向に動きます。



＊動画

https://youtu.be/TYt1jE-4vr8